

2. 経営方針

(1) 経営の基本方針

電気事業におきましては、本年3月21日の改正電気事業法の施行により、電力小売の部分自由化が導入され、いよいよ本格的な競争時代を迎えることとなりました。これにより、当社を取り巻く経営環境は、今後一層厳しさを増していくことが予想されます。このような経営環境の変化に対応するため、当社はこのたび、今後5年程度の経営方針として「中期経営方針」を策定いたしました。

「中期経営方針」は、共生・共感の理念をもとにこれまで進めてまいりました「お客さま本位の経営」をさらに強化し、「かんでんブランド」を選んでいただくことをその基本としております。具体的には、エネルギーを中核に情報通信、生活関連といった分野で幅広くお客さまのお役に立てる総合生活基盤産業への展開をめざすと同時に、「商品・サービス力」、「販売力」、「コスト競争力」をグループ企業と一体で高め、「強い会社」づくりを推進してまいります。さらにこの「中期経営方針」に基づく「平成12年度経営計画」を策定し、「収益性」「成長性」「公益性」について以下のとおり目標を定め、その実現をめざしていくことといたしました。

「収益性」H12～14年度の経常利益1,300億円以上、ROA2.3%以上

(いずれも年平均。ROAは総資産事業利益率)

H16年度末を目途に、株主資本比率20%、有利子負債残高4兆円以下に

「成長性」今後10年を目途に、グループ事業の外販売上高・経常利益を現状の1.5倍に

「公益性」原子力を基軸とした高品質な電気の安定供給

H22年度におけるCO2排出原単位0.3kg-CO2/kWh程度

当社は、こうしたチャレンジを通じて、企業価値の向上を図り、同時に経営資源の効率性を高めて財務体質の強化を図ることにより、お客さまはもとより株主や投資家の皆さまからも信頼をいただける事業活動を展開してまいります。

(2) 利益配分の基本方針

当社は、長期的な視点に立って株主価値の増大をめざしてまいります。すなわち、競争時代に突入した電気事業において、徹底した効率化を推進し、競争優位を確保できる料金水準を維持しつつ、財務体質の強化を図ってまいります。したがって、安定配当を維持しつつ、株主価値を持続的に向上させていくことを利益配分の基本方針としております。